

令和元年度 公益財団法人日本いけばな芸術協会事業報告

事業の概要

私たち公益財団法人日本いけばな芸術協会は、流派の壁を越えた、いけばな芸術の普及活動に取り組む者を会員としており、事業は、会員と理事会、事務局の協働により実施している。

1 展覧会

1-1. 本部展

令和2年4月に開催する第53回日本いけばな芸術展を見据え、近畿地区会員の出品予定者を対象として近畿地区研修懇話会を令和元年9月6日（金）に大阪で実施した。マリオット都ホテルを会場として第53回展の詳細の報告後、あべのハルカス美術館にて「ギュスターヴ・モロー展サロメと宿命の女たち」を鑑賞し、第53回展への思いを強くした。

「第52回日本いけばな芸術展」を令和元年10月1日（火）～8日（火）の会期で、日本橋高島屋S.C.を会場として開催した。協会の会員である各流派の家元等わが国のいけばな界を代表する専門家175流派981名が作品を披露し、46,348名の入場者に、芸術としてのいけばなに触れ、興味を持ち理解していただく機会となった。

10月5日（土）には、「こどもいけばな体験教室」を特設会場において開催し、小学1年生～中学3年生まで35名が参加した。協会発行「こどものいけばな」をテキストに、直接花に触れいけることでいけばなへの興味を持つ機会となり、より豊かな人間性の涵養ができた。

1-2. 地区展

「日本いけばな芸術中部展」を平成31年4月10日（水）～15日（月）の会期で、松坂屋名古屋店を会場として開催した。地区展の目的でもある「地域文化といけばなの融合」のもと、協会役員と中部地区における協会の会員である各流派の家元等わが国のいけばな界を代表する専門家217名と中部地区を主体に募った次世代のいけばな界の担い手を中心とした188名が作品を披露し、16,716名の入場者に、芸術としてのいけばなに触れ、興味を持ち理解していただく機会となった。

4月13日（土）に、「こどもいけばな体験教室」を特設会場において開催し、51名が参加した。協会発行「こどものいけばな」をテキストに、直接花に触れいけることでいけばなへの興味を持つ機会となり、より豊かな人間性の涵養ができた。

「第7回日本いけばな芸術東北展」を令和元年5月16日（木）～21日（火）の会期で、仙台 藤崎を会場として開催した。地区展の目的でもある「地域文化といけばなの融合」のもと、協会役員と東北地区における協会の会員である各流派の家元等わが国のいけばな界を代表する専門家236名と東北地区を主体に募った次世代のいけばな界の担い手を中心とし160名が作品を披露し、17,869名の入場者に、芸術としてのいけばなに触れ、興味を持ち理解していただく機会となった。

5月16日（木）にホテルメトロポリタン仙台を会場に「交流会」を開催した。東北地区の各種文化の担い手、関係行政、マスメディア関係者、役員、会員269名が集った。いけばなを通じた出会いの場は、地域振興の形成の一翼となった。

5月17日（金）・20日（月）・21日（火）に、東日本大震災で被災された花卉生産者を会場にお呼びしてお話を伺い、またその方々の育てられた花を使用して、復興応援企画デモンストラクション“未来の花を咲かせましょう”を行った。

5月18日（土）に、「こどもいけばな体験教室」を特設会場において開催し、小学1年生～6年生まで39名が参加した。協会発行「こどものいけばな」をテキストに、直接花に触れいけることでいけばなへの興味を持つ機会となり、より豊かな人間性の涵養ができた。

1-3. 特別企画展

令和元年度は実施せず。

2 調査、資料収集

平成31年4月・令和元年11月に、これからのいけばな普及活動を考えるにあたり、行政・各地域で活動するいけばな団体との連携を図るため、大阪府 大阪市 愛知県 名古屋市 高島屋大阪店 松坂屋大阪店 いけばな諸団体 花卉園芸新聞 西部役員・会員を対象に、電話・対面による調査を実施した。

令和元年7月11日(木)に遠山会長が館長を務める「静岡県富士山世界遺産センター」にて、本協会が目指すユネスコへの登録について役員研修会を開催した。遠山会長の世界遺産を保護し将来の世代に伝えることについての講演があり、その後、常設展示・企画展を鑑賞した。

令和元年7月30日(火)～8月1日(木)に東京流通センターにて開催された「夏休み2019 宿題自由研究大作戦」にて、小学生を対象に夏休みの宿題や自由研究に役立つ学習・体験プログラムとしてワークショップを開催し、いけばなに関するアンケートを実施した。

3 会誌・事務局報の発行、WEBサイトの運営

会誌「花」第44号を令和元年6月20日に発行した。

平成30年度事業報告、決算報告、平成31年度理事会・評議員会報告を掲載し、会員への衆知がはかれた。作成部数は4,600部である。

「事務局報」を東部から令和元年6月・12月、西部から4月・8月・12月に発行し会員相互の情報を提供した。作成部数は東部が各2800部西部が各2100部である。

ホームページに、令和元年度事業計画7企画を掲載した。また、平成30年度事業報告、平成30年度会計報告及び令和元年度収支予算書を掲載した。

より充実したWEBサイト運営のため、サーバー及びドメイン移管を行った。また、Googleアナリティクスを導入した。会誌及び事務局報は、WEBサイトでご覧になった一般市民の希望者5名にも提供した。

4 「こどものいけばな」「はじめよういけばな！」頒布

「こどものいけばな」は第52回日本いけばな芸術展、日本いけばな芸術中部展、第7回日本いけばな芸術東北展の会期中に開催した「こどもいけばな体験教室」の参加者、夏休み2019宿題自由研究大作戦、夏休み宿題フェスティバルIN大阪高島屋、令和元年度新規加入協会会員に頒布した。また展覧会の会場やWEBサイトでご覧になった希望者等には一冊300円で販売し、いけばなの普及活動ができた。

「こどものいけばな」の令和元年の頒布数は682冊、販売は2,129冊で令和元年12月末の残部は8,768冊である。

「はじめよう！いけばな」はNHK出版読者プレゼント、夏休み宿題フェスティバルIN大阪高島屋、令和元年度新規加入協会役員に頒布した。また展覧会の会場やWEBサイトでご覧になった希望者等には一冊500円で販売し、いけばなの普及活動ができた。

「はじめよう！いけばな」の令和元年の頒布数は365冊、販売は5,200冊で令和元年12月末の残部は5,200冊である。

5 国民文化祭への参加

令和元年度は参加せず。

6 助成（非応募型）及び寄附

第52回日本いけばな芸術展、日本いけばな芸術中部展、第7回日本いけばな芸術東北展から不特定多数の者の利益の増進に取り組む団体に支援を行うため、助成（非応募型）及び寄附を行った。寄附の先は公益社団法人日本動物福祉協会 700,000 円、公益財団法人がん研究会 500,000 円、公益財団法人高松宮妃癌研究基金 200,000 円、の合計 1,400,000 円を寄附した。

7 協力事業

JR 西日本 TWILIGHT EXPRESS 瑞風 5 号車において平成 31 年 1 月～12 月の水曜・土曜の 78 回いけばな展示を行い主催者と協力のもといけばな普及啓発ができた。

夏休み宿題フェスティバル IN 大阪高島屋において、令和元年 8 月 14 日（水）～19 日（月）の会期で、いけばなについての講義・体験教室を開催し、主催者と協力のもといけばな普及啓発ができた。

東京都指定有形文化財「百段階段」特別企画いけばな×百段階段 2019 において、令和元年 9 月 20 日（金）～11 月 13 日（水）の会期で、協会在籍の 45 流派に委託し百段階段の 6 部屋でいけばな展示を行い、主催者と協力のもといけばな普及啓発ができた。

8 委託事業

令和元年度は実施せず。

その他の事業（相互扶助等事業）について

他 1 認証式

「名誉特別会員 特別会員 正会員認証式」を令和元年 10 月 1 日（火）にホテルニューオータニ「鳳凰の間」を会場に開催した。いけばな関係者 157 名の参加のもと、東部会員より名誉特別会員 43 名、特別会員 55 名、正会員 190 名が会員認証を受けた。

参加者から飲食代等として 15,000 円の実費を徴収している。

他 2 周年事業

令和元年度は実施せず